

令和8年度 教育目標について

令和8年度、新1年生60名を迎え、全校児童350名で大塚小学校の教育活動がスタートしました。今年度も、「輝くみどりの子供たち」であふれる学校にしたいと思えます。新しいことにどんどん挑戦し、新しい楽しみを見つけて笑顔がたくさん生まれる毎日になるよう支援します。また、子供一人一人が個性を輝かせるとともに、周りの人にも優しい関わりをしながら、伸び伸びと学校生活を送ることができるよう指導していきます。

学校の基本理念

輝け！みどりの子供たち

目指す学校像

笑顔いっぱい 一人一人が生き生きと輝く 大塚小学校

- (1) お互いを認め合える学校
- (2) 生き生きと学び、活動する学校
- (3) 家庭・地域に開かれ、ともに歩む学校

教育目標(目指す児童像)

人権尊重の精神を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康な児童の育成を目指す。

○知性を高め個性豊かな児童【よく考える子】(知)

先生や保護者からの指示を待って学ぶのではなく、「すすんで学ぶ子」「学ぶことに楽しさや喜びを感じる子」を育みます。自分で考えてノートにまとめたり、友達と意見を交わしたりしながらさらに学びを深めることができる自律的な学習者を育てるために、発達段階に応じて自主学習に取り組む機会を設定していきます。

○社会性を身に付け実践力のある児童【助け合う子】(徳)

自分のことだけを考えて行動するのではなく、常に相手のことを考えたり、周りの人を気遣ったりすることは、とても大切です。今年度も、自分も相手も大切にすることを育むために、アサーションを取り入れた授業を実践します。また、より良く生きるため、上手に人と関わるために、必要なソーシャルスキルを身に付けさせたいと思えます。「特別の教科 道徳」や学級活動をはじめ、全教育活動を通して、社会性に富む子を育てていきます。

○明朗で意思の強い健康な児童【やり抜く子】(体)

心身ともにたくましさをもつ子供を育みたいと思えます。体育の時間をはじめ、休み時間の外遊びの奨励、大塚小学校独自の長縄大会(毎月、学級ごと)の取組、校外を走るマラソン大会(12月開催)の取組を通して、体を鍛えることを意識する子供を育みます。また、心の面では、たくましさとともに臨機応変に対応できるしなやかさも大切です。子供自身に考えさせ、判断、実行できる場面を大切にしていきます。

令和8年4月 文京区立大塚小学校長 山下 智美